

協働の まちづくり

ニュース

Vol. 18
2012.12月



～駅前が、こどもとどうぶつの笑顔でいっぱい♪～

今年度の「市民まちづくり支援事業」の1つである「ワンニャン&キッズフェスティバル」(主催: Happiness)が11月18日(日)に日向市駅前交流広場で開催されました。動物の命の大切さについて考えることで、優しさのある日向市になることを目的に開催された当イベント。

当日は、動物と子どもたちでにぎわい、キラキラした笑顔と楽しそうな声が飛び交っていました♪



- P 2～4 **特集①／新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業**
○モデル3地区・東郷地区の動き ○先進地視察
- P 4 **特集②／日向ひまわりフォーラム&市民活動フェスタ**
- P 5 **協働へのアプローチ／市民まちづくり支援事業**
○平成24年度市民まちづくり支援事業下半期審査結果
- P 6 **ひまわり基金推進事業(助成事業&人財づくり事業)**
- P 7 **連載／おらが村(区長インタビュー・中村区)**
- P 8 **元気印!**

歴史に潮風が香る さまざまな町の港町・田舎へ

◆細島地区の取り組み

【第二回細島芸術祭】

去る11月10日(土)・11日(日)の2日間、細島小学校体育館において、「第二回細島芸術祭」を開催しました。

本行事は、細島地区住民及び市民の皆さんが芸術文化に触れる機会を設け、芸術に親しんでもらう目的で昨年に引き続き開催されました。

今回は市内の各団体、個人の協力のもと、絵画や書道、陶芸、パッチワークといった作品や「東京スカイツリー」ならぬ「細島スカイツリー」が展示されるなど、多くの作品が展示されました。二日間合わせて350名のお客さんが来場し、「芸術の秋」を満喫していました。



▲会場中央に飾られた「細島スカイツリー」

【「気づき」による見守り運動】

福祉・健康部会では、「気づき」による見守り運動についての調査、研究をしています。

具体的な取り組みとしては、朝夕に犬の散歩やウォーキングをしている方に、歩くコースの道に何か変化がないか、通りの家に何か異常はないかなど、ちよつとした「気づき」をもとに見守り運動ができないかということの研究をしています。

地区住民にお願いする前に、まずは部会員自らが実践し、どのような方法が良いかを調査しているところです。福祉・健康部会は、今後も日常生活の中での「気づき」を活かした地域の見守り活動の推進に努めていくこととしています。



気づき！見守り！

◆塩見地区の取り組み

塩見まちづくり協議会では、2010年9月の設立以来、「えがおがあふれ、ひよっとこもビックリ、やっど!!403(しおみ)」をテーマに地域住民の交流を図るとともに活動の輪を広げながら、今年もさまざまなイベントや活動を精力的に行っています。

【塩見の自然を守る取り組み】

10月28日(日)に塩見の子どもたちを対象に、自然環境について関心を持つ心を育むことを目的として、「塩見川かんきょう教室」を開催しました。当日は、富島河川漁業協同組合の協力を得て、農村交流館にて塩見川の生態系の話を受けた後に、瀬の口橋へ移動し、塩見川へ50kgのシジミを放流しました。



▲真剣な眼差しでシジミを放流する子ども達

今後も、塩見の自然を守る活動を子どもたちといっしょに取り組んでいきます。

【塩見産の農産物と料理をPR】

11月3日(土)・4日(日)の2日間、JR日向市駅前交流広場にて開催された「農商工連携・産業合同フェスタ」に塩見まちづくり協議会として出店参加しました。今年のメニューは、そば、ぜんざい、焼き芋、野菜、みかん、そして、メダカすくい。特に好評だったのは、フェスタ前日から、地区の方の指導を受けながら手打ちした「そば」でした。汁も猪肉とゴボウ等を煮て手間暇かけたもので、準備した計100食は、両日とも早い時間帯に売り切れとなる盛況ぶりでした。その他の農産物も、予定していた数量を完売し、塩見産の農産物と料理を売り込むことができました。



▲まちづくり協議会で出店しました。

◆平岩地区の取り組み

【平岩ふれあい朝市】

平岩地区に存在する豊かな農林水産資源や人情味あふれた地域性を生かした事業「平岩ふれあい朝市」。

平成24年度では、毎月第2日曜日に行われています。11月18日に行われた朝市で15回目を迎えました！

事業を続ける中で新たな課題も見えてきているようで、産業活性化委員長の黒木照章さん(69)は、「朝市を通してより多くの方が触れ合えるようにしたい」と力強くおっしゃっていました。

今回のふれあい朝市は、12月9日(日)午前9時から行われます。皆さん、是非ご参加ください！

第16回 平岩ふれあい朝市開催 9:00~12:00 JR南日向駅前 12/9(日) [雨天中止]

安心・安全で住みよいまち 住んで良かったと思える平岩づくり

みんなが主役 牧水の里のまなびフェス

◆東郷地区の取り組み

【あいさつ運動の取り組み】

毎月15日をメインに、あいさつ運動を実施し、のぼり旗を1週間立てています。のぼり旗の標語は現在4パターンあります。内3点は、東郷学園の子どもたちが考えたものです。



継続していくことが重要なので、今後も周知徹底をさらにに行い、周辺の地域住民の方々にもこの運動が広がっていくよう、取り組みを続けていきます。

【牧水の里フォトコンテスト】

牧水公園の美化活動の一環として、ひまわりの植栽を行いました。

【「コスモス街道」へ行く】

生活環境・地域安全委員会が、本宮区健康づくり推進委員及び曙区と共同で「コスモス街道」づくりを行いました。当事業は、平岩地区のある道端をコスモスでいっぱいにする

ことで、平岩地区住民の憩いの場の創造を目的として実施しました。

9月10日(月)に総勢27名でコスモスの種をまき、10月中旬から下旬にかけて見ごろとなりました！当初予定していた子どもたちを交えての種まきが台風等の影響でできなくなったのは残念でしたが、また一つ非常に素晴らしい取り組みが始まったと感じました。



▲コスモス街道へ遊びに来た子ども達

市としては、これからこのような取り組みがますます増え、地域の魅力がさらに高まることを期待しています。

また、11月4日(日)に開催された牧水の里の秋まつりや、東郷各所で開催される秋祭りなど、秋の東郷地区は読書の秋ならず、撮影の秋！ということ、すばらしい被写体があふれています。その折角の機会を逃さないよう、東郷まちづくり協議会では、牧水の里フォトコンテストを実施しています。締め切りは12月21日(金)で、結果は来年の2月初旬頃を予定しています。多くの作品を、心よりお待ちしております！



牧水の里の秋まつり

東郷まちづくり協議会では、その他にも生活環境の調査や広報誌「絆」の発行、2月に実施予定の歩こう会等、様々な取り組みを行っています。

えがおがあふれ、ひよっとこもビックリ、やっど!!403

塩見まちづくり協議会

平成24年度下半期実施状況

創設7年目を迎えた「日向市市民まちづくり支援事業」。24年度下半期募集に対し、イベント系及びその他の事業に5事業の応募があり、その内4事業が採択されました。

12月1日までに事業を完了した3事業を紹介します！（1事業は表紙をご覧ください。）

◆第3回日向ぼっこよりどり地鶏フェスタ in ひむかー

10月21日（日）に「地鶏」と「へべす」を全国に発信するためのイベント「第3回日向ぼっこよりどり地鶏フェスタ in ひむかー」が開催されました。当日は20店舗が自慢の鳥料理を競い合い、来場者に鳥料理とへべすの素晴らしさをしっかり伝えていました。

ゆくゆくは「日向市＝地鶏」のイメージが定着し、日向市を中心とした県北地域を代表する食のイベントに発展していくことを期待しています！



▲たくさんの方がおいしい鳥料理に舌鼓を打ちました！

◆まちなかハロウィン2012

子どもたちが主役となって「ハロウィン」をテーマに、街中でさまざまな体験を通して街を愛する心を育てることをテーマにした体験型イベント。

今回で通算9回目を迎え、過去最多の1万人が訪れました。たくさんの方がさまざまな衣装に身を包み、駅前交流広場に集まる様子はまさに圧巻の一言。当日は、会場が子どもたちの笑顔で包まれ、子どもたちにとって楽しい思い出の1ページとなったのではないのでしょうか。



▲たくさんの方が「パンプキン共和国」の住民になりました！

イベント

映画「東京家族」& 「ひまわりと子犬の7日間」上映会



※写真は昨年実施のものです。

平成25年1月20日(日)

昨年度、日向市青の国大賞を受賞された山田洋次監督の最新作及び宮崎県内を舞台に製作された映画の上映会が、映画館のないまち日向で開催！

当日は山田洋次監督・平松恵美子監督の舞台挨拶を予定しています。

- 会場：日向市文化交流センター
- 料金：2,000円
- 主催：山田会 (<http://ww6.tiki.ne.jp/~yysk/>)
- お問合せ先：54-6111 ((公財) 日向市文化振興事業団)

情報

「日向を元気にする」イベントがたくさん開催されてるなー♪皆もぜひぜひ参加してみてくださいね！！



◆合同視察研修に行ってきました！

去る10月30日（火）・31日（水）の2日間、佐賀市の地域コミュニティづくりの取り組みについて、合同視察研修へ行きました。（4地区より合計11名が参加）佐賀市は、平成22年度から「佐賀市地域コミュニティ活性化検討委員会」を立ち上げ、地域の維持・活性化についての研究、協議を行っており、平成23年度から学校区を単位としたモデル事業を展開し、これまでに7つの校区がモデル校区としてまちづくり活動を実践しています。

実は昨年、佐賀市のモデル校区の方たちが本市の協議会の取り組みを視察に来ており、それが縁となって、今回の視察研修が実現しました。

初日は、佐賀市の取り組みをはじめ、佐賀市、日向市の両協議会が共通した課題、問題などを意見交換する時間などを設け、お互いの情報共有ができました。特に、共通して出た課題は「まちづくり＝（イコール）人づくり」という観点から、人材育成、後継者育成の方法についてでありました。

2日目は、嘉瀬校区の「嘉瀬まちづくり協議会」の具体的な活動内容についての研修を受講しました。嘉瀬校区は人口約5,000人の校区で、のどかな田園地帯が広がる地区ですが、学校と子どもたちを巻き込んだ取り組みを常に考えているということがとても特徴的で印象に残りました。今回の研修で、本市の各協議会の皆さんも今後の活動をしていくうえでの大きなヒントを得ることができたようです！今後の活動に注目です！！



◆日向ひまわりフォーラム・市民活動フェスタが開催されました！

男女共同参画の啓発と市民活動の推進を兼ね合わせた『日向ひまわりフォーラム』（同実行委員会主催）が、10月21日（日）に日向市中央公民館と日向市文化交流センターの2会場で開催されました。

午前中は「男女共同参画講演会&ミニライブ」、午後に市民活動フェスタが開催され、両イベントに延べ約600名の来場者がありました。また、「うまいもの市」も同時開催され、会場はにぎわいを見せていました。

【男女共同参画講演会&ミニライブ】

今回は、フォークシンガーであり白鷗大学教授でもある山本コウタローさんを講師として招き、「あなたらしくイキイキと一女（ひと）と男（ひと）とのよりよい関係」と題して講演していただきました。

山本さんは、フォークソングの歌詞に見られる男女の立場の移り変わりやご自身の体験談などユーモアを交えながら、『ライフパートナーとの「自然な関係」こそが「よりよい関係」。まずお互いが自立して、分担しあい貢献しあうこと。自分のことは自分でやる「家事は自事」、お互いに感謝の言葉「ありがとう」を口にすることが大事。』と話していました。そして、講演後は、ミニライブが行われ、「走れコウタロー」「岬めぐり」など全6曲を歌っていただき、来場者も一緒に口ずさみ大変盛り上がりしました。

【市民活動フェスタ】

「行こう！遊ぼう！学ぼう！広がる市民の輪！」をテーマに、30団体がパネル展示や活動の紹介を行いました。会場中央には、10メートルを超える「ひまわりスカイツリー」が設置され、来場者の目を引いていました。

今回も多くの市民活動団体が、様々な形で「日向ひまわりフォーラム」に参加していただきました。この場は、日頃の活動をPRする良い機会となり、さらに団体相互の交流・発展に繋がっていくものと思います。





おらが村 ~区長インタビュー vol.5

このコーナーは、市内に9区ある各自治区の区長さんにインタビューをし、地元の魅力を語っていただくコーナーです！

第5回目は、区長公民館長連合会、塩見地区理事長であります中村区・区長の壺岐久光さんに中村区の魅力を語っていただきました！



今回インタビューに答えていただいた、中村区・区長 壺岐 久光さん♪♪

Q.中村区はどこなところですか？

中村区は、日向市中心部より西に2km程の農村地帯に位置します。現在、160世帯、人口480人となっています。高齢化や地域行事の弱体化などの問題はありますが、区民の活力で補っています。現在、児童への環境教室、高齢者の健康推進を目的に農村公園を活用するなど、区民の皆さんの笑顔を楽しみに取り組んでいます。中村区は、明るい気持ちであいさつができる自慢の区域です。

Q.中村区のおすすめスポットを教えてください。

やはり、城山公園ですね。日向市内を一望でき、尾鈴山も遠望できます。城山公園から眺める夕日は素晴らしく、尾鈴山へ向けて牧水の歌を一句詠みたい気持ちになります。ぜひ城山公園からの景色、情緒を堪能しに来ていただきたいですね。

Q.中村区のおすすめのイベント、ユニークな活動などを教えてください。

栗尾神社の例大祭が一押しですね。例年12月中旬に行われています。塩見まちづくり協議会の出店により、賑やかさを増しているのはもちろん、地元の子どもたちによる浦安の舞は大変素晴らしく、訪れた方々に毎年喜ばれています。今年は残念ながら終わってしまいましたが、毎年11月下旬に行われる臼太鼓踊りや、ひょっとこ踊りも栗尾神社例大祭では披露されます。また、もちまきの量が多い事でも有名で、区民総出のお祭りとなっています。



△浦安の舞の様子



△臼太鼓踊りの様子

活動としては、ミニバレーボール、ソフトボール、グラウンドゴルフの大会を年に2回開催しています。また、健康増進を目的に、社会福祉協議会による健康講習会も行っています。防災避難訓練では、婦人部が炊き出しを行っています。訓練にかかる全ての時間を計測し、実践に備えた取組を行っています。その他、様々な取組を行っています。協力者も増加しており、区民の皆さんが一体となって豊かな中村区づくりに努めています。

—中村区は区民の皆さんの笑顔と、自然の溢れる豊かな区であることが伝わってきました！壺岐久光区長ありがとうございました！！

国際交流員を派遣します！！

市では、市民の皆さんの国際理解や異文化理解の推進を目的に、「国際交流員派遣事業」を実施しています。

事業の具体的な内容は、高齢者学級や家庭教育学級などで、交流員アールの母国(カナダ)の紹介をさせていただいたり、保育園、幼稚園での交流、地域のイベントなどに参加させていただいたりしています。交流員アールも皆さんとの交流を楽しみにしていますので、気軽にご連絡ください！

【問合せ先】：市民協働課市民協働係
TEL 56-0017 (直通)



編集後記

秋の日向は、市内各地で多数のイベントが開催され、多彩な賑わい・活気に満ちていました。活動されている市民活動団体も増え、日向市をより元気に、より良くしたい！という方々の輪も広がりはじめです。また、新しい地域コミュニティ組織制度のモデル3地区が来年度より本格導入となる他、東郷地区が今年度より協議会を立ち上げるなど、活力ある地域づくりがますます高まっていますように感じます。より多くの市民の皆さんに、イベントへの参加等を通して、地域への想い等を共感していただきたいと思います。(な)



市民協働課掲示板/ひまわり基金事業の紹介

ひまわり基金事業では、「市民活動助成事業」「NPO法人設立支援事業」「市民活動団体リーダー養成事業」が行われています。

このページでは、その内「市民活動助成事業」及び「市民活動団体リーダー養成事業」について紹介します！（「NPO法人設立支援事業」については、裏表紙をご覧ください。）

市民活動助成事業

市民活動助成事業では、市内の団体が日向市をより良くするために取り組むまちづくり事業やまちづくりのための学習会などに対して助成を行っています。

【助成率】助成の対象となる経費の2分の1以内
【上限額】100,000円以内
【募集期間】随時募集
※事業実施の1か月前まで

【採択事業紹介】

去る10月21日(日)に高森文夫勉強会による講演会が開催されました。今回の講演会は、高森氏とも個人的に付き合いのあった宮崎市在住の詩人・三重野文明氏を講師に招き、高森氏の詩の魅力や中原中也氏との関係性などについてのものでした。

この取り組みは、日向市東郷町出身の詩人である高森文夫氏の足跡を学ぶことで、地域の宝として定着させることを目的としています。市としては、この取り組みのようにそれぞれの地域にある資源や課題を活かした取り組みが増えることを期待しています！



講演に聞き入る地域の方々！

市民活動団体リーダー養成事業

リーダー養成事業では、「日向市を良くしたい！」という気持ちのある市民の方を対象に、まちづくりや地域づくりに関する講座を実施しています！

講座の内容は、コミュニケーションの大切さを学ぶ講座などの基礎的なものから、実際に日向市の実情に沿ったテーマを設定し「どうすれば日向市が良くなるのか」について調査研究をする実践的なものまで、幅広く実施しています。

昨年度は「海」「特産品」「情報」の3つのテーマで、日向市における問題点の洗い出しや、解決のヒントとなる先進地視察研修を行いました。その後、学んだことを日向市で活かす方策をグループで話し合い、様々な場で発表を行いました。

この事業を卒業した受講生は、現在もさまざまな団体に活躍しています！



真剣な眼差しの受講生

ひまわり基金事業に興味のある方は、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください！

【お問い合わせ先】
日向市ひまわり基金事業推進協議会事務局（日向市市民協働課内）
教育別館1階 電話番号：56-0017 E-mail：kyoudou@hyugacity.jp



建和会 青年部

～日向のまちを、人を支える取り組み～



守る会設置の看板

建和会青年部は、平成12年に市内の建設業の青年有志による結成以来、様々なボランティア活動等に励んでいます。現在は約20名の部会員が、市内で開催されるイベントのお手伝いや清掃活動等に取り組んでいます。日向市美術展覧会や、ひよっこ夏祭り大会などのイベントでのボランティア活動をはじめ、去年はもちまきを行うなど、より地域に密着し、貢献のできる活動を目指して取り組んでいます。

中でも、私たちが特に力を入れている活動の一つに、「子どもを守る会」の活動があります。作業中に気付いた危険箇所へ看板を設置したり、のぼり旗なども立てて、子どもたちを危険や犯罪から守るため、活動を行っています。これからも、市民の皆さんがさらに笑顔で暮らせる日向市を支えるため、より一層活動に力を入れて行きたいと思えます。

【連絡先】
日向地区建設業協会
Tel : 0982-52-4138



イベントでのボランティア活動

日向市ひまわり基金事業 NPO法人設立支援事業

ひまわり基金事業では、NPO法人を設立しようとする団体への助成を行っています。
助成の額は、**20万円**を限度として交付します。

申請の要件は、

- ① 当該年度にNPO設立登記が完了する予定であること
- ② 設立しようとするNPO法人の主たる事務所の所在地及び代表者の住所又は居住が市内にあること
- ③ 設立しようとするNPO法人の社員の1/2が市内の在住者で構成されていること

となっています。

事業や募集に関して不明な点、相談などがございましたらお気軽に下記日向市役所市民協働課までお問い合わせください。また、日向市ひまわり基金協議会要綱、助成金交付基準、事業申請書を「協働のまちづくり」ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

【問い合わせ先】

日向市役所市民協働課（教育別館1階）
TEL 0982-56-0017（直通）



日向市全市公園化事業補助金 沿道や公園等の緑化を推進します！

市では、日向市全域を公園・憩いの場として捉え、市民の皆さんとともに、緑豊かな美しい都市の形成を図る「全市公園化事業」を推進するため、日向市全市公園化事業補助金を交付しています。助成の対象となる方は、緑化を推進する個人及び団体で、補助内容は以下のとおりです。

- ① 生垣植栽事業
国道、県道、市道に隣接する生垣にかかる樹木の植栽
※補助額 個人3万円 団体5万円（いずれも上限額）
- ② 沿道修景事業
沿道修景に寄与する国道、県道、市道に隣接する農地及び空き地にかかる樹木及び花の植栽
※補助額 個人3万円 団体5万円（いずれも上限額）
- ③ 公園等緑化事業
私設公園（市民へ無料開放するものに限る。）の緑化整備等
※補助額 個人、団体ともに10万円（上限額）
補助対象費用は、樹木の苗・花の種子（球根）の購入費用です。
事業について、興味のある方は市役所市街地整備課・公園街路係までお気軽にご連絡下さい。（TEL0982-52-2111）
内線 2612・2714



写真は、平成23年度に実施した垣見まちづくり協議会の花の植栽の様子です。

詳しくは「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください！

日向市 協働のまちづくり

検索